

Gate : 11

Arrive : Tallinn | Date:19 Jan.23



福地祐介

渡良瀬 滑走路



滞在期間中、交流を重ねるほど折に触れて「どこか日本人と似ているなあ。」と感じていたのですが、親しくなった現地の方も「日本へ旅行した際、とてもエストニア人と似ている。」と感じたそうです。

北欧、冬のエストニアに輝くぬくもり。

2022年11月23日。

僕は昨年台湾で主演をさせて頂いた映画『動物感傷の清晨』のワールドプレミア兼コンペティション部門へのノミネートを受け、エストニアの首都・タリンで開かれた国際映画祭へ出席してきました。

上映からセレモニーを含め、約7日間の滞在。

僕は初めて訪れたこの北欧の国で、思いもよらない“気づき”に出会う事になりました。

乗り換えを含め、飛行機で片道約20時間を超える遠く離れたこの国で出会ったもの。

それは、遙か東の僕ら日本人ととても似通った、エストニアの方々「もてなし」の心づかいでした。

映画祭期間中、現地における全ての案内役として各映画チームにボランティアで参加してくれているホスト役の方が派遣されました。その期間中、行事の出席から自由行動に至るまで毎日ほぼ付きつきりでこちらのサポートをしてくれ、時には僕らのホスト役でない方であっても、その時々で関わった方々が、こちらに対して何か手助けできる事があればとても親身に対応してくれました。

ゲストをもてなす心の事を、英語では「ホスピタリティ」と言います。

現地にて、各国から集まった映画人の方々と毎日本当に沢山の交流を持ちましたが、「現地のホスピタリティに感動しています。」と、この言葉を一番良く耳にしました。

「ゲストの方々に、一番の滞在体験とエストニアの良さをお届けしたい。」

そのホスピタリティが各所に詰まった、とても思い出深いエストニアでの国際映画祭となりました。



ふくち ゆうすけ/
1984年足利市生まれ。俳優。
20代を東京、欧米で過ごした後、
独学で中国語を修得。現在台湾、
シンガポール、中国、日本を拠点
に活動、その各国に主演作品を
有している。近年、自身の水彩画
やエッセイなどの創作が注目を
集め、書籍出版や連載、講演等の
依頼へも積極的に参加している。
studio@yuwiyuwiyuwi.com